



草木染めにこだわり
重伝建地区の染色研究所

てん ねん そめ いろ
天然染色研究所

本町一丁目、国登録有形文化財の森家住宅石蔵（旧穀蔵）に「天然染色研究所」の看板が掲げられてから9年目になる。趣のある平屋の建物は、大正3年に森家の穀蔵として建設されたもので、石造りではあるが外装は漆喰塗りで土蔵風の仕立て、内部は染色家・田島勝博さんの工房である。

40年以上にわたり染色業に携わってきた田島さんがこだわるのは「草木染め」である。「化学染料は自分で色を作りだす、自分が中心の世界。ところが、草木染めは自然から色をいただくもので、次元の違う世界です」。

88年続いた染色工場を閉じ、桐生新町の風情が漂うこの場所を得て、「研究所」と名付けたのは「商売にするのは難しい。店にすると売り上げはどうかを気にしなくてはいけないので、研究所としました」と言う。

研究所に足を踏み入ると、田島さんが染め上げた色鮮やかなショールやマフラーなどの創作品や木の実や草の葉など「草木染め」の染料が入った小瓶がずらり。日本人の色に対する感性の豊かさを示す100色の色見本もあり、田島さんの染めの哲学が漂う独自の世界が展開する。

桐生八木節まつりに協賛して研究所前の路上で始めた「桐生新町染流し（草木百人染め）」も9回目となり定着、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されたこのエリアで染色を中心に街づくりに関われるのを「心から楽しんでいる」。

*草木染め体験は予約にて受け付け（団体は不可）、体験料は原料の布代程度（素材によって異なる）。



染料の入った小瓶をバックにした田島勝博所長

- 場所：桐生市本町1-3-5
- 電話番号：0277-43-1089
- 開所時間：午前10時～午後6時
- 休日：日曜日